学長 寺嶋 一彦

「新型コロナウイルス感染症に対する本学活動基準」 <レベル 2.5> への引き下げについて (適用日:10月1日~10月 17日)

本学の活動基準は、8月25日より、活動基準をレベル3としているところです。

<u>学内における感染者等の状況</u>について、<u>感染者および濃厚接触者は、9月13日以降発生</u> しておらず、落ち着いているところです。

この状況を踏まえて検討した結果、10月1日から活動基準をレベル2.5に引き下げることを決定しましたので、順次対応をお願いします。

なお、<u>今後の愛知県、豊橋市および学内の感染者数等が落ち着いた状況で推移した場合は、</u>10月18日(月)よりレベル2に引き下げる予定です。活動基準の変更におきましては、 改めてお知らせいたします。

この状況を認識していただいた上、<u>レベル 2.5 へ引き下げたことで気を緩めることなく、</u> 引き続き、新型コロナウイルス感染症への感染防止及び感染拡大防止へ緊張感を持って取り 組まれるよう、よろしくお願いいたします。

なお、活動基準の各項目におけるレベル3とレベル2.5の内容(抜粋)は以下のとおりです。

【授業】

レベル3:遠隔授業のみ レベル2.5:遠隔授業中心

> *ただし、対面での実施が必要な少人数での実験・実習等については、 感染拡大防止措置を徹底の上、実施可とする。

【研究室等の教育研究活動等】【教員個人の研究活動、研究所、センターの活動】

レベル3:原則,大学内での活動の中止

レベル 2.5: 感染拡大防止措置の上

・在宅勤務を積極的に活用し、オンライン活用による必要な活動の継続

【事務職員の業務】

レベル3:感染拡大防止措置の上一居室での人数を減らすとともに、出勤者削減による業務の継続(出勤者70%削減目途)

レベル 2.5:感染拡大防止措置の上一居室での人数を減らすとともに、出勤者削減による業務の継続(出勤者30%削減目途)

【課外活動】

レベル3:活動禁止 レベル2.5:活動禁止

> * ただし、すでに競技会への参加が決定している等中止が難しい活動等に ついては許可することがある。

【学内会議】

レベル3:原則、オンライン・メールによる会議の実施 レベル2.5:原則、オンライン・メールによる会議の実施

【出張等】

レベル3:原則、出張・旅行・移動の禁止

レベル 2.5: 原則, 緊急事態宣言発令区域及びまん延防止等重点措置を実施すべき区域 への出張・旅行・移動の禁止。

【施設利用・構内入構】

レベル3:〈学生・教職員、学外者〉原則、施設利用・構内の入構禁止

レベル 2.5: <学生>対面で必要な少人数の実験・実習等を受ける場合、研究室等における 教育研究活動、就職指導等を受ける場合は、入構可

> <教職員>新しい生活様式等の実践・励行を徹底し、施設利用・構内入構 <学外者>原則、施設利用・構内の入構禁止

学生・教職員の皆さんにおいては、マスク着用や手洗い・手指消毒の徹底など、

各自でできる感染予防対策を引き続き実施するとともに、「3密(密閉、密集、密接)」はもとより、1密でも回避すること、不要不急の移動の自粛すること、外出を通常の5割に削減することなど、感染リスクを低減させる行動に努めてください。

特にマスク未着用のときに、感染が多く発生している状況がありますので、常日頃からマ スクの着用を徹底してください。

- ※活動基準については、(別紙1)を参照願います。
- ※症状発生時における対応・大学への連絡フローについては、(別紙2)を参照願います。

(別紙1)

(7)1/PUL 1 /		VZ 1 + 1/4 0 + -
項目	レベル	活動基準の内容
【授業】	2. 5	●遠隔授業中心
	(10/1~)	●ただし、対面での実施が必要な少人数の実験・実習等については、感染
		拡大防止対策を徹底の上、実施可とする。
【研究室等の	2. 5	●感染拡大防止措置の上
教育研究活動等】	(10/1~)	・在宅勤務を積極的に活用し,オンライン活用による必要な活動の継続
		●ただし、大学内での活動継続が必要な場合は、新しい生活様式等の実践・
		励行を条件に、実施することができる。
		・研究室所属学生等については、研究室責任者(教員)の判断とする。
		*スタッフの研究室内での滞在時間を可能な限り抑える。
		*勤務者は、できる限り人と人との接触機会を少なくするよう慎重に対応
		*研究室内での行動履歴・健康履歴記録の徹底
		<新しい生活様式等の実践・励行の徹底>
		へ利しい王冶林氏寺の矢成・IIが11の版成/
【教員個人の研	2. 5	●感染拡大防止措置の上
究活動, 研究所,	(10/1~)	・在宅勤務を積極的に活用し、オンライン活用による必要な活動の継続
センターの活動】	(12)	
227 07/12/12		 ●ただし,大学内での活動継続が必要な場合は,新しい生活様式等の実践・
		励行を条件に、実施することができる。
		│ │*勤務者は,できる限り人と人との接触機会を少なくするよう慎重に対応
		* 研究室内での行動履歴・健康履歴記録の徹底
		・ 引え主的 この打動版座・ 健康履歴 記述の無限
		ノエールとは世代の中央・時行の独立へ
「東攻聯号の	0.5	<新しい生活様式等の実践・励行の徹底>
【事務職員の	2. 5	●感染拡大防止措置の上
業務】	(10/1~)	・一居室での人数を減らすなど、新しい生活様式等の実践・励行を徹底し、
		必要な業務の継続(出勤者削減 30%目途)
		・時差出勤の活用
		・在宅勤務の活用
		・別室活用
		●ただし、期間中に行うべき重要な業務は、新しい生活様式等の実践・励行
		を徹底し、上記以上の出勤者による業務の継続を認める。
		*勤務者は,できる限り人と人との接触機会を少なくするよう慎重に対応
		★届出制
		<新しい生活様式等の実践・励行の徹底>
【課外活動】	2. 5	●活動禁止
	(10/1~)	●ただし、すでに競技会への参加が決定している等中止が難しい活動等につ
		いては許可することがある。

【学内会議】	2. 5 (10/1~)	●原則、オンライン・メールによる会議の実施
		●ただし、やむを得ない事情がある場合、緊急性を要する場合は、数名程度で新しい生活様式等の実践・励行を徹底し、対面会議も可能とする。 (別紙3参照)
		< 新しい生活様式等の実践・励行の徹底> (活動基準・別紙3抜粋) *対面会議を認める場合の例
		<会議> ・国等、公的機関からの通知等により、至急に意思決定が必要な場合
Fili∃E & N	0.5	
出張等】	2. 5 (10/1~)	●感染拡大防止措置の上・原則、緊急事態宣言発令区域及びまん延防止等重点措置を実施すべき区域への出張・旅行・移動の禁止
		・ただし、やむを得ない事情がある場合及び緊急性を要する場合に、出張・ 旅行・移動を認める場合がある。(別紙3参照) ・上記以外の不要不急の出張・旅行・移動の自粛
		・工記以外の不安不志の山張・脈1」・移動の日開
		★出張:許可(命令)
		★旅行・移動:相談
		・緊急事態宣言発令区域に出張・旅行・移動した場合、1週間は在宅学習・ 在宅勤務を求め、できる限り人との接触機会を少なくするとともに、毎朝
		体温を測定し、記録すること。
		・まん延防止等重点措置を実施すべき区域に出張・旅行・移動した場合、1
		週間は毎朝体温を測定し、記録すること。
		<新しい生活様式等の実践・励行の徹底>
		(活動基準・別紙3)
		*対面会議を認める場合の例
		やむを得ない事情がある場合、緊急性を要する場合に、対面会議、出張、
		旅行を認める場合の例
		<会議>
		・国等、公的機関からの通知等により、至急に意思決定が必要な場合
		・その他、大学として至急、意思決定をしなければならない重要案件が発
		生した場合
		<出張、旅行>
		・国等、公的機関から依頼がある場合
		・家族に不幸等やむを得ない事情がある場合
		・その他、法令等で義務の順守等に必要な場合
『 ₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	0.5	<新しい生活様式等の実践・励行の徹底> ■ #####
【施設利用・	2. 5 (10/1~)	●一部制限
構内入構】	(10/1~)	< 教職員> - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		・新しい生活様式等の実践・励行を徹底し、施設利用・構内入構
		* 公共交通機関利用も可
		<学生> ・対面で必要な少人数の実験・実習等を受ける場合,研究室等における教育
		- ・ 対画で必要な少人級の夫験・美百寺を文ける場合、 研究至寺における教育

研究活動、就職指導等を受ける場合は、入構可

- * 公共交通機関利用も可
- ・学生宿舎等の入居者は、上記以外の不要不急の施設利用は禁止(食堂等、 散歩等は可)

<学外者>

- · 原則, 施設利用·構内入構禁止
- ・ただし、大学の機能の維持、教育研究活動の継続等に必要な物品の納入、
- 工事施工、取材等は構内入構を認めることができる。
- <新しい生活様式等の実践・励行の徹底>

<図書館、研究所、センター>

・新しい生活様式等の実践・励行の徹底し、施設開館

(学生・教職員) 症状発生時における対応・大学への連絡フロー

- 1. 息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感) ・発熱等体調不良の自覚
- ✓ 直接医療機関に電話で相談する。受診先に迷う場合,「受診・相談センター」に電話で相談する。または,
- ✓ 健康支援センターに相談する。
- ✓ 症状軽快後二日が経過するまで来学しない。
- 2. 保健所から濃厚接触者と特定された場合

(状況に応じて,健康支援センターから濃厚接触者の特定を行う場合がある)

- ✓ 保健所からの指示に従い自宅等で待機。
- ✓ 健康支援センターに連絡する。
- ✓ 来学しない。
- 3. ○同居する家族が濃厚接触者と特定された場合

(状況に応じて,健康支援センターから濃厚接触者の特定を行う場合がある)

- ○本人が濃厚接触者の特定を受けないが, 濃厚 接触が疑われる場合
- ✓ 来学せずに健康支援センターに連絡する。
- 4. 新型コロナワクチン予防接種後, 関連性が高いと認められる症状(副反応によるものを含む)が現れ, 不安な場合
- ✓ 健康支援センターに連絡する。

医療機関受診(診断、治療)

豊橋市は豊橋市保健所 (開設時間9:00~17:00)

(夜間・土日祝日はオンコール(24時間)体制)

通常の健康相談窓口も開設しています

受診・相談センター、保健所

電話番号: 0532-39-9119

新型コロナウイルス感染症検査を受けることとなった場合必ず

豊橋技術科学大学健康支援センター

(平日9:00~17:00)

電話番号:0532-44-6632

E-Mail:kenkou@office.tut.ac.jp

休日・時間外

E-Mail:kenkou@office.tut.ac.jp

健康支援センターへの連絡と同時に,

学生は、授業等の欠席を要する場合本人から 指導教員・クラス担任または教務課教務係へ 連絡。

欠席した場合は,後日,補講・追試等の実施,授業中 に課すものに相当するレポート課題等を実施します。

◎ 教務課教務係(受付時間:平日8:30~17:15)

電話番号:0532-44-6545

✓ 教職員は,本人から所属長へ連絡する。

President Terashima Kazuhiko

Lowering of the Toyohashi University of Technology Activity Standard Level for Preventing the Spread of New Corona virus to "Level 2.5"

(Effective from October 1st)

The University's activity standard for the new coronavirus has been set at Level 3 from August 25.

No one has been confirmed to be infected on campus since September 13th, and the situation has calmed down.

In consideration of these circumstances, The University's activity standard for the new coronavirus will be lowered to Level 2.5 from October 1st. Please act to the standard level sequentially.

XIf the infectious situation in Aichi prefecture, Toyohashi City and the university continue to calm down, we may be lowered to Level 2 from October 18th.

Although the University's activity standard for the new coronavirus will be lowered, you are required to act, with the greatest care and attention, to prevent infection and spread of the new coronavirus infection.

Please refer to the attached document for the activity standards.

URL: https://www.tut.ac.jp/docs/210924kijyun.pdf

[Attachment]Toyohashi University of Technology Activity Restrictions Level for Preventing the Spread of COVID-19

Activity	Level	Content of activity standards
Class	Level 2.5	●In principle, remote learning is used.
	(from	*However, experiments and practical training for small number
	October.	of people that need to be given in face-to-face classes can be
	1)	carried out with measures to prevent the spread of infection.
Educational and	Level 2.5	●For preventing the spread of COVID-19
Research	(from	• Continuation of necessary activities through the active use of
activity	October.	working at home and online.
With students	1)	• However, if it is necessary to continue the activity on campus,
at laboratory		it can be carried out subject to the practice and encouragement
(Include EIIRIS,		of "New lifestyle".
research center)		
Educational and	Level 2.5	●For preventing the spread of COVID-19
Research	(from	• Continuation of necessary activities through the active use of
activity with	October.	working at home and online.
students at	1)	• However, if it is necessary to continue the activity on campus,
laboratory		it can be carried out subject to the practice and encouragement
		of "New lifestyle".
Activities of	Level 2.5	●For preventing the spread of COVID-19
administrative	(from	Thoroughly implement "new lifestyle" by reducing the number of
staff	October.	people in rooms, etc., and continue to perform necessary duties
	1)	(30% reduction in attendance)
		*However, for important work to be performed during the period,
		the number of staff who come to work will be larger than the
		above, provided that the new lifestyle is practiced and
		encouraged.
		*Those who work in the field should be careful to minimize
		opportunities for human contact as much as possible.
		★Notification system
Students'	Level 2.5	●Activities are prohibited.
extracurricular	(from	*However, for activities that are difficult to cancel, such as
activity	October.	participation in a competition, permission should be obtained.
	1)	para 2.2. para a dampara 2.3. para a da
	• /	
Meeting	Level 2.5	●As a general rule, conduct meetings online and by e-mail.
on-campus	(from	●However, in case of unavoidable circumstances or urgency, face-
	October.	to-face meetings can be held with several people to ensure that
	1)	the "New lifestyle" is practiced.
D 1		
Business trip,	Level 2.5	●For preventing the spread of COVID-19
etc.	(from	●In principle, business trip, travel, and transportation to

October. 1)

emergency declaration areas are prohibited.

- However, in case of unavoidable circumstances or urgency. business trip, travel, and transportation may be permitted.
- Refrain from unnecessary and unnecessary business trips, travel, and movement to areas other than those listed above.
- *In case of business trip, travel, or transfer, you need to comply with the requests and precautions issued by the local government, etc. of the destination, and be sure to confirm the intentions of the destination, etc.

★Business trip: Obtain permission (ordered)

★Travel: Need consultation

- When traveling on business, including private travel and homecoming, to the area where a state of emergency is declared, you are be required to study or work at home, and have as little contact with other people as possible, and also to measure and record their body temperature every morning. This required actions have to be taken during one week after you come back from the travel or trip mentioned above to your place of residence.
- When traveling on business, including private travel and homecoming to the area where the priority measures for prevention of spread of the disease are implemented, you are required to measure and record your body temperature every morning during one week after returning from the area.

Facility use and entering to TUT

Level 2.5 (from October. 1)

● For preventing the spread of COVID-19

<Faculty and staff members>

- Thoroughly practice "New lifestyle "when using the facilities or entering to TUT.
 - *Public transportation can be used

<Students>

 Students are allowed to enter the campus when receiving experiments, practical trainings, when conducting educational and research activities in laboratories, and when receiving employment guidance.

*Public transportation can be used

• Residents of the student dormitories are prohibited from using the facilities except for the above (use of the cafeteria, walking, etc., are permitted).

<Off-campus visitors>

- Facility use and entering to TUT are basically prohibited.
- However, deliveries of goods, construction and interviews for news necessary for the maintaining university's functions and continuing education and research activities are permitted.

★Thorough implementation and encouragement of new lifestyl <library, and="" center="" laboratory=""> • Thoroughly practice "New lifestyle "and open facilities.</library,>

[For Students and faculty and staff members] How to respond to symptoms of Covid-19 and the flow of contact to the university

- 1. Awareness of physical problems such as difficulty breathing, strong fatigue, and fever
- ✓ Consult a medical institution directly by telephone. If you are not sure where to go to see a doctor, consult Medical Consultation Center by telephone.
- ✓ Consult the TUT Health Care Center
- ✓ Do not come to the university two days after the
- ✓ symptoms disappear.
- 2. When the public health center identifies you as a close contact person with an infected person

(According to the situation, TUT Health Care Center may identify you as a close contact person with an infected person)

- ✓ Stay at home according to instructions from the public health center
- ✓ Contact the TUT Health Care Center
- ✓ Do not come to the university
- 3. O When a family member who lives with you is identified as a close contact person with an infected person.

(According to the situation, TUT Health Care Center may identify you as a close contact person with an infected person)

- OWhen the person is not identified as a close contact person but is suspected to have made a close contact
- ✓ Consult the TUT Health Care Center
- ✓ Do not come to the university
- 4. When you feel uneasy because of highly relevant symptoms (including side effects) after vaccination against COVID-19
- ✓ Consult the TUT Health Care Center

Visit a medical institution (diagnosis and treatment)

New Coronavirus Infectious Disease Counseling Service in your residential area, such as Medical Consultation Center, Public Health Center Contact of Toyohashi City:

Toyohashi City Public Health Center

(Opening hours 9:00 to 17:00)

- *On-call (24 hours) system at night, weekends and holidays
- *They also have a regular health consultation desk Phone number: **0532-39-9119**

When the decision is made to undergo testing for COVID-19

TUT Health Care Center (Weekdays 9:00-17:00)

Phone number: 0532-44-6632 E-Mail:kenkou@office.tut.ac.jp Holidays and Before/After office hours

E-Mail:kenkou@office.tut.ac.jp

At the same time when contacting the TUT Health Care Center, please note that;

- ✓ Students need to be absent from classes should contact their faculty member, class teacher or the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division.
 - *If you are absent, you will be given supplementary lessons/re-examinations and report assignments equivalent to those you will be given during the class.
 - Contact: Educational Affairs Section, Educational Affairs Division

(Weekdays 8:30-17:15) Phone number: 0532-44-6545

The faculty or staff members need to contact the head of the department or division, to which she/he belongs